

「JBKS2014」

来場者5・7%増

日本製で新規市場創出を

2、3日に東京国際フットニット・セレクトション  
 オーラムで開催された「JBKS」2014  
 「第7回ジャパン・ベスは、前回比5・7%増の



JBKS2014アワード表彰式

3739人が来場し、国内ニッ  
 ト産業への関心の高さがうかがわれた。  
 佐藤正樹JBKS実行委員長は、「デザイン性や見せ方、市場性などが、回を重ねるごとに向上してきた。売

れ筋を追うビジネスが限  
 界を見せるなか、メード  
 イン・ジャパンで新しい  
 ものを発想していく我々  
 の提案に関心が持たれた  
 のだと思つ」と語った。  
 海外生産コスト上昇や  
 田安、原料高などを背景  
 に、日本のモノ作りが見  
 直され始めたが、「海外生  
 産品をそのまま日本生産  
 に切り替えてもコストが  
 合わない。我々国内製造  
 業とアパレルや小売りが  
 一緒になつて、メードイ  
 ン・ジャパンの新しい市  
 場を作っていきたい」と  
 展望する。

JBKSアワード審査  
 委員長を務めたクールジ  
 ヤパン機構の太田伸之社  
 長は、「各社レベルが高く  
 アワードの審査も苦労し  
 た」と評価しながらも、同  
 機構の案件にファッショ  
 ンが挙がっていないこと  
 から「欧米の高級ブランド  
 も日本のモノ作りがな

いときけない。だからこ  
 そ、勇気を出して海外進  
 出するスキームを共に構  
 築しよう」と呼び掛けた。  
 一方でアパレルや小売  
 りなどに対し、「欧米のフ  
 をすべき」と強調した。  
 次回に向けては今展で  
 た

の職人技を高く評価し、  
 熱心に日本の産地に足を  
 運んでいる。日本のファ  
 ッションブランドもこれ  
 に気付き、そういう努力  
 をすべき」と強調した。  
 次回に向けては今展で  
 た